

持ち物 筆記具、エプロン、三角巾
費用 食材料の一部100円を負担

「生涯骨太クッキング」講座

食生活改善協議会主催の料理教室です。楽しく料理をしましょう。
日時 12月10日(水)
時間 午前10時～午後1時ごろまで
場所 保健福祉センター(2階調理実習室)
対象 町内の方
締め切り 12月3日(水)
内容 簡単な料理
費用 食材料の一部100円を負担
持ち物 筆記具、エプロン、三角巾(バンダナ)

女性に対する暴力相談窓口

女性の約10人に一人が「配偶者からの暴力」に悩み苦しんでいます。解決には早めの相談が問題解決への第一歩です。
配偶者からの暴力(言葉の暴力含む)、職場のセクシャルハラスメント、ストーカー被害など、内容によって各種相談窓口があります。相談窓口をご案内するナビダイヤルは☎0570-0155210です。役場保健福祉課でも受け付けています。

幼児センターから
幼児センターは☎82-3400、子育て支援センターは☎82-5100

子ども・子育て支援制度で新たな保育利用制度へ

子ども・子育て関連3法(平成24年8月成立)に基づいて、来年4月から新たに子ども・子育て支援制度がスタートします。保育の必要量に応じて認定を受け、その認定区分ごとに施設を利用する制度です。(関連の新しい園児募集16ページを参照)
幼児センターではこれまで、家庭の事情を考慮して保育が必要であるという認定をもとに入園決定を行ってきましたが、新制度では基準が拡大します。
▼保育が必要である事由によって保育の必要量を認定
保育が必要である事由とは、「就労」「妊娠中または出産後間がない」「疾病・障がい」「同居親族の常時介護・看護」「災害復旧」「求職活動中」「就学」「育児休業時に既に利用している子どもが継続して利用する必要があること」「虐待やDVの恐れがある」「その他町長が認める場合」

必要量に応じた認定区分		
区分	対象の子ども	保育の必要量(幼児センターでの利用区分)
1号	2号認定以外の満3歳以上で就学前の子ども	短時間型
2号	満3歳以上で保育を必要とする子ども	長時間型(3歳以上児)
3号	満3歳未満で保育を必要とする子ども	長時間型(3歳未満児)

の10項目です。
▼利用者負担額(保育料)
保護者の所得に応じて、国が定める水準を限度に設定します(町民税額をもとに算定、国水準は来年1月以降に示される予定)。町はこの水準を踏まえ、現状の保育料から変動が少なくなるよう配慮して決定します。子どもが2人以上いる世帯の負担は、新制度でも現行に準じて軽減する予定です。

子育て講座・子供の写真スクラップ方法

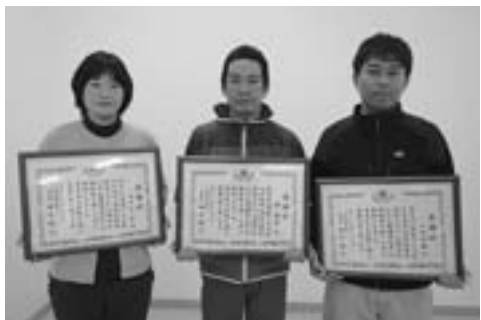
お子さんの写真をステキにアレンジしましょう。
日時 12月4日(木) 午前10時～11時半
場所 子育て支援センタープレールーム
定員 10組程度
内容 簡単に作れるスクラップブック
講師 鈴木育美さん(東神楽町在住)
材料費 600円程度(当日)
持ち物 写真3枚を各自用意
その他 託児希望者には託児室あり(申し込み時に申し出)

クリスマス会を開きます

もうすぐクリスマス！子どもも大人もなんだかワクワクする季節ですね。楽しいクリスマス会です。親子でご参加ください。
日時 12月22日(月) 午前10時～11時半
場所 幼児センター子育て支援センタープレールーム
対象 お子さんと保護者定員 特になし(要予約)
内容 おはなしの会ピピピ読み聞かせ、リコーダーサークルイコ口演奏など
持ち物 ご自分のお子さんに各自300円程度のクリスマスプレゼントを持参(食べ物以外のもの)

登山者救助で感謝状

登山中に突然倒れて心肺停止になった男性を救助した東川町内と旭川市内に住む4人の人命救助活動に対して、大雪消防組合(田中陵一消防長)は10月30日、感謝状を贈りその行動をたたえました。
今年7月、大雪山山岳(標高2千291m)の旭岳ロープウェイ姿見の駅(標高約千600m)か



小沼さん、関さん、山下さんの3人(右から)

ら約100名の姿見散策コースで地元の男性登山客(80)が、突然倒れて心肺停止状態になりました。その時旭岳の散策道をパトロール中だった関真宏さん(東川町内)、小沼秀樹さん(旭川市内)、自然ガイドの中川伸也さん、山下なつ絵さん(ともに東川町内)の4人が現場に居合わせ、その場で心肺蘇生の心臓マッサージとAED(自動体外式除細動器)を使って救命治療。搬送用のドクターヘリコプター到着までの間、適切に初期救急救命を行いました。
この日は関さん、小沼さん、山下さん3人が出席。田中消防長から感謝状を受けました。
登山者はその後旭川市内の病院搬送後の治療を受け、車の運転ができるほどに回復しています。



北央信組、町の交通安全活動に今年も寄付

10月23日、北央信用組合(札幌足立真理事長)と同組合役員一同から、町にそれぞれ多額の現金寄付をいただきました。
足立理事長、川東寿春東川支店長らが来庁し、松岡市郎町長に寄付金を手渡しました。
昨年に次いで2年連続3度目。町では東川小学校の新築移転に伴って必要となる周辺の交通安全啓発看板などの設置費として役立てることにしました。
2005(平成17)年に同組合員が交通事故死亡したことをきっかけとして同組合で交通安全活動、職員の募金運動を始め、道内35営業所の所在市町村で交通安全に寄与するための寄付を続けているそうです。ありがとうございます。

松原さん、森の歴史伝える巨木の特製テーブル寄贈



11月13日、東川町森林組合長を務めている松原潔さん(28区)から、原木の幹をそのまま使って制作した特製の銘木テーブル2台(それぞれ直径約100cm、厚さ約15cm)を町に寄贈いただきました。
町の開拓120年記念に、と特別に依頼して制作しました。北海道林産試験場(旭川)のマテリアルグループ研究主任、大崎久司博士の調べでは、282年程度の年輪。1955(昭和30)年ごろ伐採されたものです。1673(延宝元)年前後、4代將軍・徳川家綱治世の江戸時代に生まれました。

落葉高木、ハルニレの大木(別名ニレ、アカダモ、通称エルの木)です。道内では街路樹としてもよく見かけます。建材、楽器材

救急車を更新しました

大雪消防組合東消防署はこのほど、救急車を更新し10月14日から運用を開始しました。
これまでのII B救急車(平成15年式)に比べて救命処置が容易な広い車内の高規格救急車になりました。新たに自動心肺蘇生器(自動心臓マッサージ器)を導入し、最新の資器材を効率的に配置して



「ドン」のお菓子、お菓子作り



11月11日、幼児センターの子どもたちがドン菓子づくりの見学とおいしいお菓子に大喜び。
通称「ドン」「バクダン」「ポップコーン」などと呼んでおなじみのドン菓子の作り方を子供たちに見せたい。今春先生たちのリクエストで始まったドン菓子づくり、「はたけの教室」の畑に昔ながらの八列トウキビ(飼料用トウキビ)を種まきし、約90本のトウキビを収穫。「ほしのゆめ」の新米と合わせて2種類のドン菓子を作りました。